



原石工房

第5回

調べて、計画して、書いて、確定する

公式の教材を、順番に

Anthropic 公式 Claude Academy 「Claude Code 101」

この資料について

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code 101 / The explore → plan → code → commit workflow

原文の流れと節の並びをそのままに、要点を落とさず日本語にしています

全51回の、今日はここ

Claude Code 101

1 2 3 4 **5** 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第5回

6つのコース、全51回。飛ばさず順番に進みます

今日のレッスン

Claude Code 101 の5つめ

原題 The explore → plan → code → commit workflow

訳 調べて、計画して、書いて、確定する

4つの節と、最後にまとめがあります

このレッスンの流れ

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

- ① このコースで、いちばん大事なこと
- ② 調べて、計画する
- ③ 書く
- ④ 確定する

① このコースで、いちばん大事なこと

教材が「いちばん大事な教え」と書いているところ

このコースで、いちばん大事な教え



この順に進む。飛ばさない

仕事のたびに、この4つを繰り返す

調べて、計画して、書いて、確定する

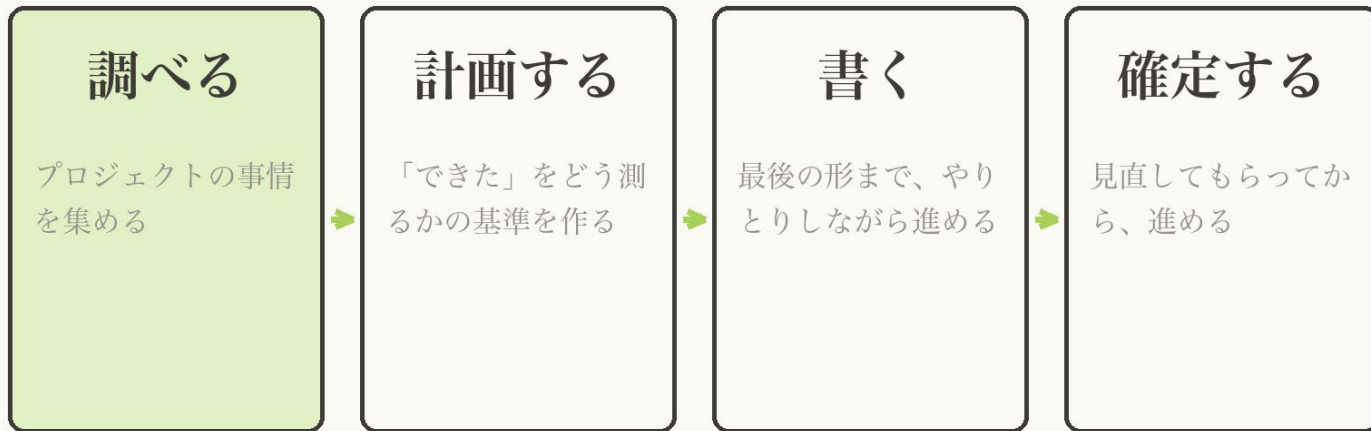
教材は、このレッスンの中身を、このコースでいちばん大事な教えだとして書いています

その中身が、調べる → 計画する → 書く → 確定する、という流れです

仕事のたびに、この4つを順に回していきます

① 4つの段が、何をするところか

4つの段が、それぞれ何をするところか



この順に進む。飛ばさない

① 計画をせずに書かせると

計画をせずに書かせると

いきなり「書いて」と頼む



あとで直すが増える

↑ 書いてしまったものを、あとから直す

先に計画を立てさせると

何をするかを、先に見せてもらう



直すのは、書く前で済む

↑ 直すなら、こちらのほうが早い

直すのは、書く前がいちばん早い

計画をせずに、いきなり「コードを書いて」と頼むと、あとで直すことが増えます

先に計画を立てさせると、直すのは書く前で済みます

※ コード＝プログラムの中身。機械に何をさせるかを書いた文

① ここで出てきた言葉

まず2つ

コード

プログラムの中身。機械に何を
させるかを書いた文

確定する（コミット）

書いたものを「これで決まり」
として記録に残すこと

② 調べて、計画する

原題 Explore and Plan

プラン モード

ファイルは書き換えません



① 関わりのあるファイルを読む



② 必要なら、ウェブで調べる



③ やることの計画を出す

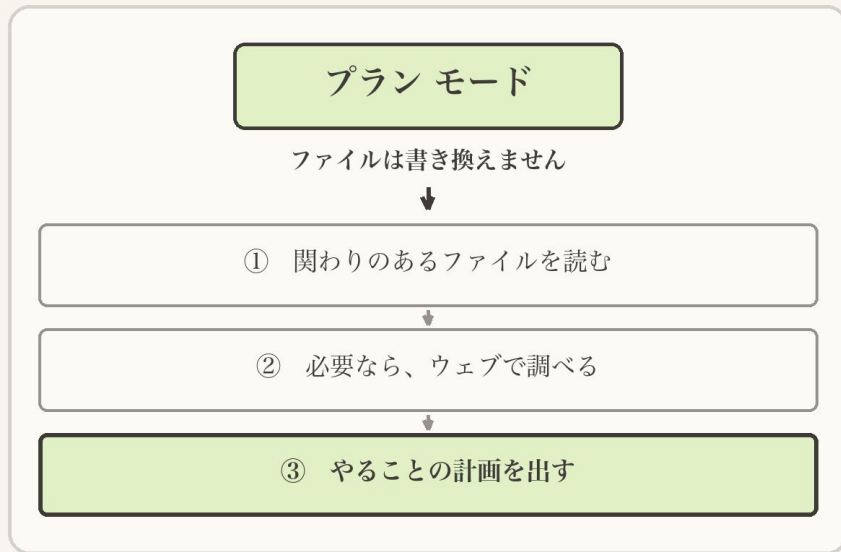
書き換えずに、調べて、計画を出す

いちばん速いのは、プラン モードを使うことです

プラン モードではファイルを書き換えられません。情報を集めることだけをします

Shift + Tab を押して、プラン モードに切り替えます

② プラン モードで、Claude がやること



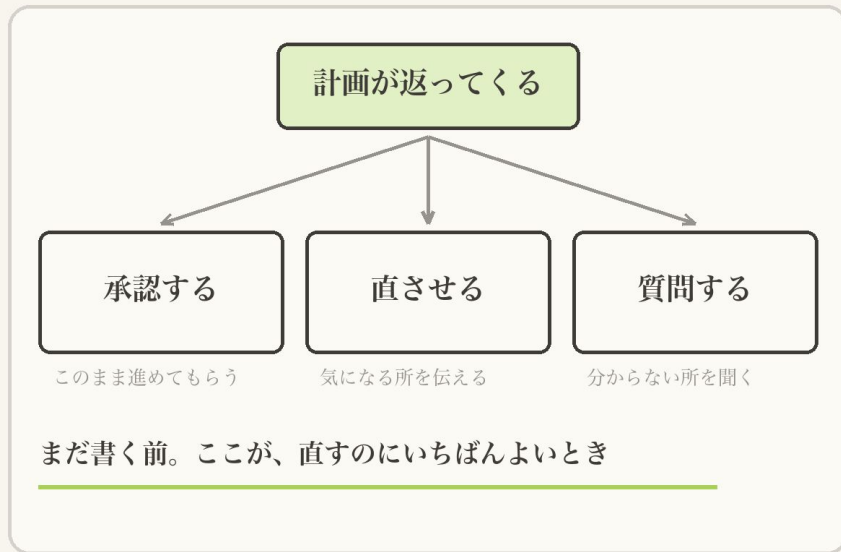
書き換えずに、調べて、計画を出す

関わりのあるファイルを読みます

必要なら、ウェブで調べます

そのうえで、これからやることの計画を出してきます

② 計画を読んで、選ぶ



読んで、選べる。どれでもいい

出てきた計画を読んで、承認する・直させる・質問する、のどれでもできます

まだコードを書く前のこの段階が、直すのにいちばんよいときです

※ ウェブで調べる＝説明書や最新の仕様を、自分で探しに行くこと

② ここで出てきた言葉

2つ

プラン モード

すぐには書き換えず、まず計画
を立てさせる段階

ウェブで調べる

説明書や最新の仕様を、自分で
探しに行くこと

③ 書く

原題 Code

書くとき、なめらかに進めるための3つ

「できた」の線を決める

何をもって正解とするかを、先に決める

道具を足す

画面の見た目を、Claude が直接ためせるようにする

テストのひとそろいを渡す

自分で確かめながら進められるようにする

先に決めておくほど、あとが楽になる

計画を承認すると、Claude が実際に動き始めます

どこまで許すかの段階によって、進み方が変わります

そのつど確認を求めてくるか、書き換えだけ自動で通すか、聞かずに進むか、です

③ なめらかに進める3つのコツ

書くとき、なめらかに進めるための3つ

「できた」の線を決める

何をもって正解とするかを、先に決める

道具を足す

画面の見た目を、Claude が直接ためせるようにする

テストのひとそろいを渡す

自分で確かめながら進められるようにする

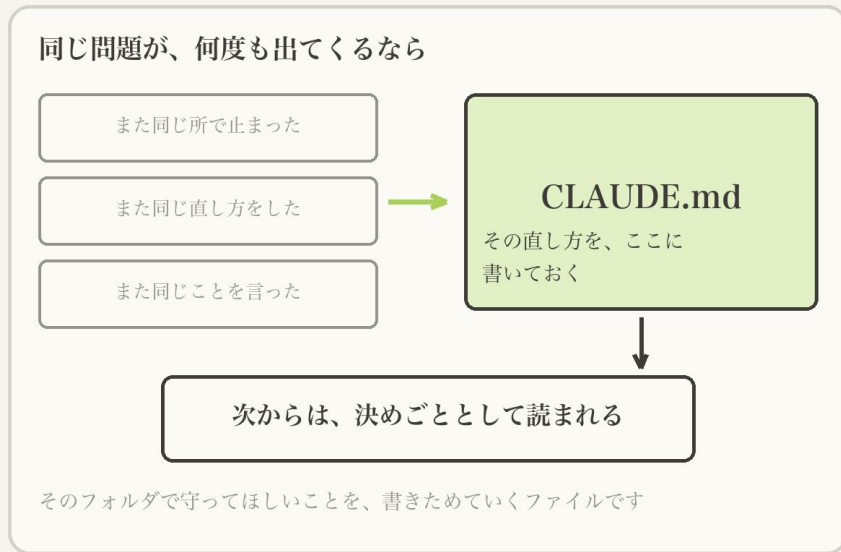
「できた」の線を決める。何を正解とするかを、先にはっきりさせます

道具を足す。Chrome の拡張機能で、画面の見た目をためさせます

テストのひとそろいを渡す。自分で確かめながら進められます

先に決めておくほど、あとが楽になる

③ 同じ問題が、何度も出てくるなら



同じことを、二度言わなくてよくなる

その直し方を、CLAUDE.md に書いておきます

次からは、そのフォルダでの決めごととして読まれます

※ 同じことを、二度言わなくてよくなります

③ ここで出てきた言葉

まず2つ

どこまで許すかの段階

第4回でやった、手動・自動で受け入れる・自動の切り替え

拡張機能

アプリに後から足せる機能

③ ここで出てきた言葉（つづき）

あと2つ

テストのひとそろい

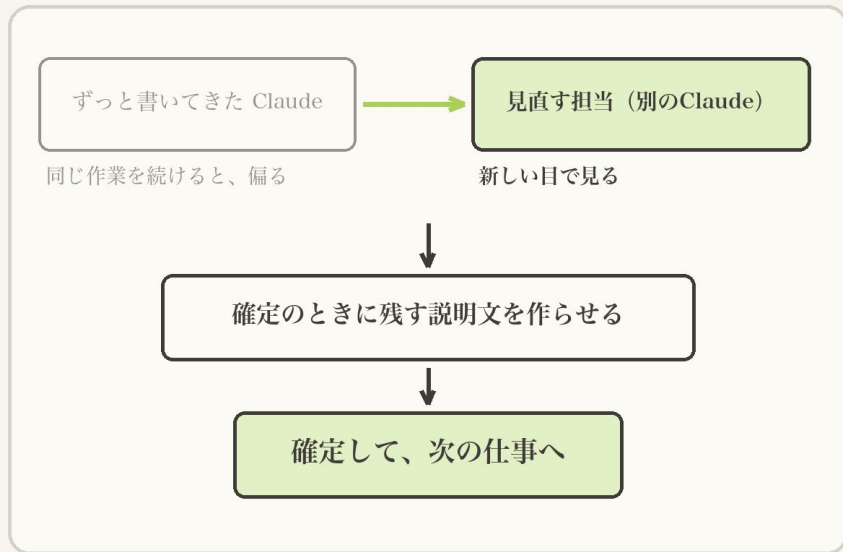
思ったとおり動くかを、機械が自動で確かめる仕掛けの集まり

CLAUDE.md

そのフォルダでの決めごとを書いておくファイル

④ 確定する

原題 Commit



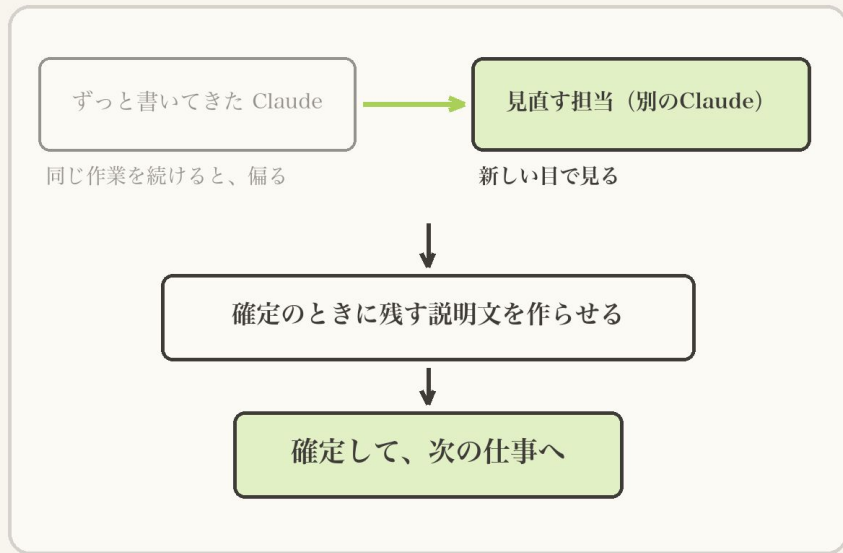
新しい目を1つ入れてから、確定する

自分でためしてみても、これでよいと思えたら、書いたものを進める段階です

確定する前に、書いたものを見直す担当を、別に走らせます

教材はこれを、コードレビューのサブエージェントと呼んでいます

④ 新しい目で、見てもらう



新しい目を1つ入れてから、確定する

新しい目で見てもらうと、同じ作業を続けてきたことによる偏りを避けられます

そのあと、確定のときに残す短い説明文を Claude に作らせて、次の仕事へ進みます

※ 確定のときに残す短い説明文 (コミットメッセージ) = 何をどう変えたかの記録

④ ここで出てきた言葉

2つ

サブエージェント

別の担当として動く Claude。手分けさせる相手

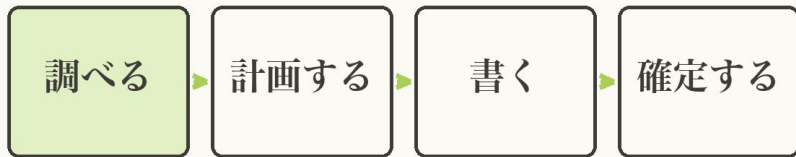
コードレビュー

書いたものを、人や機械が見直すこと

まとめ

原題 Recap

このコースで、いちばん大事な教え



この順に進む。飛ばさない

仕事のたびに、この4つを繰り返す

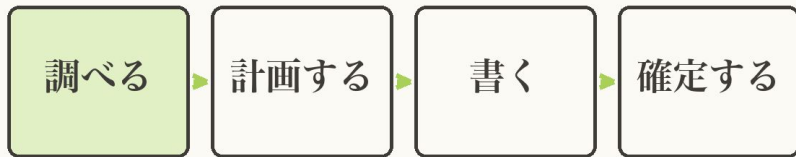
調べて、計画して、書いて、確定する

調べる プロジェクトの事情を
集める

計画する 「できた」をどう測
るかの基準になる、やることの
計画を作る

まとめ (つづき)

このコースで、いちばん大事な教え



この順に進む。飛ばさない

仕事のたびに、この4つを繰り返す

書く 最後の形にたどり着くまで、やりとりしながら進める

確定する 書いたものを見直してもらい、そのうえで進める

調べて、計画して、書いて、確定する

今回のまとめ

この回で押さえるところ

- ・ 調べる → 計画する → 書く → 確定する、の順に進む
- ・ 計画をせずに書かせると、あとで直すことが増える
- ・ プラン モードは書き換えない。読んで、調べて、計画を出す
- ・ 書く前が、いちばん直しやすいとき
- ・ 確定する前に、別の目で見直してもらう

Claude Code 101 の6つめ

原題 Context management

訳 コンテキスト管理

全51回の、6回目です

あなたの仕事では、どこまでを先に計画させますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く